

2019年9月1日

北近畿経済新聞(8面)に掲載されました

日東精工19年12月期中間

各事業が増収に

日東精工(株)(本社・綾部市井倉町、材木正己社長)の2019年12月期中間連結決算は、売上高は前年同期比3・9%増の166億5800万円、中間純利益は同4・0%増の8億9600万円となった。主力のファスナーなど各事業で売上高が伸びた。

原材料価格の上昇に

より営業利益は同8・4%減の13億2700万円。経常利益は同7・2%減の14億100万円だった。

事業別の売上高は、ファスナー事業は同4・4%増の119億4400万円。主力の精密ねじはカメラ業界の低迷により低調だったが、一般ねじは自動車関連業界向けに堅調に

推移した。

産機事業は同1・0%増の36億5400万円、自動車関連業界の設備投資の需要を取り込んだ。制御事業は部品検査装置と地盤調査機が伸び、同10・0%増の10億5900万円だった。

19年12月期の通期業績は、売上高は前期比4・8%増の354億円、当期純利益は同1・0%増の20億5千万円と予想する。「樋口」